

平成30年度  
事業報告書

公益財団法人防府市文化振興財団

# 平成30年度 公益財団法人防府市文化振興財団事業報告書

## I 事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

平成30年度は、本財団の設立20周年であると同時に、地域交流センター（アスピラート）・青少年科学館（ソラール）開館20周年の節目の年となりましたので、記念の年にふさわしい多彩な事業活動を展開してまいりました。

これからも、防府市公会堂、防府市地域交流センター、防府市青少年科学館、防府市視聴覚ライブラリー、防府市立防府図書館、及び山頭火ふるさと館計6施設の指定管理者として、各施設において様々な事業を企画運営し、市民文化と教育の振興に努めてまいります。

## II 事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「防府まちづくりプラン2020」に沿った文化・芸術活動の推進、並びに図書館運営事業による生涯学習を推進するため、所管する6施設のあり方を検討し、それぞれの特徴を活かしながら連携して適正な管理運営に取り組みました。

また、収益事業についても、公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

### 1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

#### (1) 鑑賞事業（資料1頁～4頁参照）

##### ① 音楽鑑賞事業

本年度は、自主事業8事業9公演、受託事業3事業13公演、合計11事業22公演のクラシックからポップス、伝統芸能、それ以外のジャンルと多岐にわたる事業を展開し、合計で約1万2千人の方にご参加いただきました。

##### ア 自主事業

ブリヂストン吹奏楽団久留米、村治佳織&村治奏一、クレイジーケンバンド、キティズパラダイス&チャオ!チャオ!の各コンサートを開催しました。音楽以外のジャンルでは、中山秀征講演会、さかなクントークショー、お笑いフェスを開

催しました。

また、今年で6回目となる「響け！防府ハーモニー 全国大会出場記念コンサート」を防府市と共同で開催し、全国大会に出場した小学校2校、中学校2校、高等学校1校がその腕前を市民に披露しました。

#### イ 受託事業

東京都交響楽団首席トランペット奏者としてオーケストラ・ソロ・室内楽と第一線で活躍し、世界中から注目されている高橋敦を迎えて、リサイタルを開催しました。曲ごとにトランペットを変えて演奏し、高い技術と柔らかい音色で観客を魅了しました。

また、「歌舞伎のすゝめ」と題して、歌舞伎鑑賞入門公演を開催しました。第1部では芸術性を体験できる立ち廻りのワークショップを、第2部では「茶壺」という演目披露し、軽快な舞と笑いを取り入れた演目に会場は沸きました。歌舞伎の楽しさ、おもしろさを味わえる公演となりました。

#### ウ 防府音楽祭（受託事業）

第18回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでもらえるよう1月11日（金）から14日（月・祝）までの4日間開催しました。

初日の「街角コンサート」では、牟礼公民館、英雲荘、防府市議会棟議場、サンライフ防府、桑陽病院、天神ピア、アスピラート市民スペースの市内7か所でコンサートを行い、各会場とも多くのお客様にご来場いただきました。昨年に引き続き「街角コンサートスタンプラリー」も開催し、全会場を巡り鑑賞して下さった方もあり、好評を博しました。

2日目に開催した「だれでもクラシック」プロムナードコンサート特別バージョンは約500人の来場者で賑わい、金管ファンファーレ、歌、オーボエ、箏、尺八と様々な音楽を楽しんでいただくことができました。例年、市民スペースで開催しているプロムナードコンサートですが、アスピラート開館20周年記念として、往復はがきで応募したお客様を音楽ホールにご招待して開催しました。

また、小学校から高等学校までの児童・生徒から社会人まで70人が集った「管・打楽器特別公開クリニック」では、フルート、オーボエ、打楽器など10パートのクリニックを行い、プロの奏者から基礎と共に楽器に対する姿勢などについても指導を受けました。

3日目の「わくわく夢の響演コンサート」では、前半は、箏と尺八の古典曲や箏と尺八のための弦楽合奏曲など、伝統楽器による音楽の魅力を伝えました。また、金管五重奏によるオペラ「魔笛」では、5人の寸劇と迫力の演奏に会場が大きく沸きました。後半は、合唱組曲「くるみ割り人形」のオーケストラ、合唱、

バレエの壮大な舞台で、更に盛り上がりを見せました。

最終日の「ファイナルコンサート」では、制作30周年を迎えた合唱組曲「佐波川」を合唱団約60名とソリスト、そして箏と尺八の音楽祭特別版で披露し、その演奏を称えられました。また、その後のチェロ協奏曲、交響曲「新世界」では、オーケストラ音楽の魅力と演奏の迫力により観客を魅了しました。アンコールでは「ぶっちー」も登場し、今年の防府音楽祭も大いに盛り上がりました。

市民参加型として定着している防府音楽祭は、(独)日本芸術文化振興会からの高い評価を受け、引き続き今回も助成を頂いております。

## ② 美術鑑賞事業

企画展を6回、美術鑑賞バスを1回開催しました。

### ア 自主事業

1975年に同時に誕生したサンリオの人気キャラクター「マイメロディ」と「キキ&ララ」。この2つのキャラクターの展覧会「マイメロディ♥・キキ&ララ☆展」を、アスピラート開館20周年を記念して山口県で初開催しました。本展を共同で巡回した岡山県や山形県の美術館と連携し、貴重な原画や資料を企画展示し、4週間程の会期ながら約1万2千人もの来場者で賑わいました。また、企画展の内容をより深く理解するためにワークショップを企画し、地元の若手作家が子供たちを指導しました。夏休み期間中でもあり、全講座満員となり好評を博しました。

y a b山口朝日放送との共同企画展「ふるさとの匠たち 第11回腕前探訪」は、地元の職人の技を紹介するイベントとして定着しています。今年も4日間で約6千人の来場者があり、賑わいました。

山口県出身・在住の現役デザイナーによる山口県の小中高生を対象にしたポスターデザインプロジェクト「瀬戸内デザイングランプリ」は3回目となりました。山口ゆめ花博の開催を記念して、「花」をテーマとした楽しく美しいポスターを募集し、応募総数952点のうち入賞作品238点を展示しました。本年は関連イベントとして、ワークショップ「デザイン花畑」も開催し、瀬戸内デザイングランプリの審査員・実行委員と一緒にデザインの広がり楽しさを体験する場となりました。

### イ 受託事業

アスピラート開館20周年記念・八幡学園開園90周年記念・y a b開局25周年記念企画として「山下清展～山下清とその仲間たち」を開催しました。山下清が人生の大半を過ごした施設・八幡学園の所蔵する作品のうち、本展のため選りすぐりの100余点を借り受け企画展示し、市民の皆様から大きな反響がありました。会期中には、八幡学園の理事による記念講演会や、貼り絵ワークショップ

ブも開催しました。

また、毎年恒例の美術鑑賞バスは2回企画しましたが、7月11日（水）に予定しました九州国立博物館、北九州市立美術館分館への訪問は、豪雨災害による交通事情などを考慮し中止としました。11月29日（水）には、ひろしま美術館、広島県立美術館を訪問し、「普段見ることの出来ない文化財や美術品を鑑賞する機会を提供する」という目的を達成できました。車内でのアスピラート学芸員による解説や、現地美術館でのレクチャーが好評の美術鑑賞バスは、毎年、参加者の満足度が高い事業となっています。

その他、クリスマス盛り上げるイベントの一環として、今年も「アスピラートでクリスマス！」を実施しました。読売マラソン前夜の防府を盛り上げる企画として、毎年恒例となっているクリスマスコンサート「灯りの下でコンサート」には200人もの来場者があり、音楽祭のプレイベントとしても定着してきております。また、地元の作家が制作した「冬」や「灯り」をテーマにした作品を展示するとともに、「くるくるカラフルライトアップ」と銘打ったイベントも行い好評を博しました。

## （2）育成事業（資料4頁～6頁参照）

### ① 音楽育成事業

こども合唱教室、弦楽合奏教室、吹奏楽教室、合唱教室を継続事業として年間を通して開催し、幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただきました。また、チェンバロ講座も継続して実施しました。

### ② 美術育成事業

現役の小学校の図工担当教諭等が企画、指導を行う造形ワークショップ「ゆめあーとひろば」を昨年に引き続き開催しました。6講座開催し、例年同様全講座とも満員の盛況ぶりとなりました。この事業は、(独)国立青少年教育振興機構の助成を受けて開催しております。

## （3）普及事業（資料6頁～7頁参照）

### ① 音楽普及事業

防府市出身のチェリスト田中雅弘氏を毎年講師に迎えての音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記は「名器と奏者～名器もいろいろ!?」を、さらに、毎年様々な楽器について学ぶセミナーでは「サクスを語る『大活躍の木管楽器!?その魅力』」を開催し、好評を博しました。

## （4）発表・支援事業（資料7頁参照）

### ① 音楽発表・支援事業

市民参加型の発表会「フェスタ・アスピラート音楽部門」は、出演者33団体約400人が参加し、来場者は例年同様に2,000人を超えました。県内でも大変

珍しい市民参加型イベントとして定着しています。

また、当財団の各育成教室を母体とする防府吹奏楽団、防府弦楽合奏団、防府少年少女合唱団の各定期演奏会、地元出身の作曲家大村能章を記念して開催される「能章まつり」の開催を支援しました。

## ② 美術発表事業

「フェスタ・アスピラート美術部門 なんでも写真コンテスト」は、アスピラート開館20周年を記念し「めでたい」をテーマとして開催しました。151点もの作品の応募があり、全作品をアスピラート市民スペースに展示するとともに、来場者による投票と写真家、協賛者による審査を行い、アスピラート大賞など各賞を決め表彰しました。

## (5) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう、各施設が連携をとりながら利用促進を図りました。

### ① 防府市公会堂

市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなう管理運営に努めました。

#### ア 施設整備

老朽化した消防設備（作動式スポット感知器、誘導灯電池）の修理等を行い、安全性の維持に努めました。

その他の施設・設備については、老朽化したものも含め、定期的な保守管理を行い、良好な状態を維持しました。

#### イ 利用状況（資料8頁参照）

前年度に比べ、利用率が6%増加しました。増加の要因は、大ホールにおいて吹奏楽、舞踊、式典を始めとする各種大型の公演や大会が開催されたことによるものです。特に夏季においては、市内外の小中学校による吹奏楽の練習での利用が連日ありました。

なお、大ホール以外の施設は、少人数での楽器の練習やサークル活動、企業による会議室としての利用が定着してきました。

平成31年1月から開始した耐震補強・大規模改修工事については、改修案の段階から防府市と協議を重ねてきましたが、工事が始まった後においても常に協議を重ねており、市民からの声を生かした会館になるよう努めています。

本年度の利用率は36%、利用人数は50,954人でした。

### ② 防府市地域交流センター

誰もが利用しやすい施設となるように、以下のとおり管理運営を行いました。

## ア 施設整備

本年度は開設から10年以上経過していたホームページのリニューアルに着手しました。見易さ、わかりやすさを最優先に考え、スマートフォンでの閲覧にも対応した仕様に変更します。

また、施設のご利用について、お客様の幅広いニーズに応えられるよう、いくつかのルール改正も行いました。具体的には、各種学会やコンベンションの誘致に関連した早期予約制度の新設、さらに、試行段階ではありますが、当館のなかで最も稼働率の高い練習室について、予約受付期限の緩和を行っています。

毎年恒例となっている施設の裏側を公開するバックステージツアーは1月に開催しました。本年度から小学生以上であれば誰でも参加できるよう対象範囲を広げて実施した結果、参加者は大人ばかりになりました。来年度はより幅広い年齢層で参加者が集まるようPR方法を工夫していくつもりです。

施設の維持管理の面では、開館から20年が経過したこともあり、舞台照明設備や空調設備等、経年劣化に伴う機器の不具合が多発しました。その都度、防府市とも協議しつつ修繕を行ってきましたが、全体的に設備・機器の劣化が進んでおり、施設管理の面では今後も厳しい状況が続くものと想定されます。

なお、2019年1～3月で予定されていた展示ホールの改修工事については、諸事情により中止となりました。

## イ 利用状況（資料9頁参照）

利用率については、前年度（70%）をわずかに上回り71%となりました。利用人数についても、前年度を10,433人上回る96,613人となりました。

利用率の内訳としては、音楽ホール69%、リハーサル室82%、展示ホール62%、練習室86%となっています。

なお、音楽ホールについては、前年度より利用率が5%増加しており、近年では平成26年度の71%に次ぐ高い水準となりました。来年度は防府市公会堂の休館に伴い、利用率はさらに高くなると見込んでいます。

## 2 山頭火ふるさと館運営事業

### (1) 管理運営事業

山頭火ふるさと館の案内や催し等について、来館者や市民に親しまれる館運営を行いました。

#### ① 案内業務

山頭火ふるさと館には、無料ゾーンと有料ゾーンがあり、入館時に料金を支払うのかどうか、戸惑われるお客様が多くいらっしゃったため、受付カウンターには常

時職員を配置し、来館者に対して分かりやすく施設の案内をしました。また、必要に応じて周辺の観光施設についてもご案内しました。

② ふるさと展示交流室の運營業務

交流室については、通常は多くのお客様に気軽に利用していただけるスペースとして無料開放し、パネルや映像を使用した山頭火とそのふるさと防府の情報発信に努めました。また、山頭火ふるさと館所蔵の書籍の一部を、来館者に自由に読んでいただけるように設置しました。

交流室を専用して使用するための申請があったときは、市の条例及び規則に基づいて、使用許可等の事務を適正に実施しました。

③ 広報活動

全国におられる山頭火ファンに向けて、ホームページや SNS を活用して山頭火に関連する情報発信を随時行うことにより、山頭火ふるさと館へ足を運んでいただけるよう努力しました。周辺のうめてらすや天満宮を訪れる観光客への広報としては、うめてらすにポスターやショップ商品を設置したり、駐車場整理のボランティアの方々に法被を着ていただいたりして、観光客の誘導にも努めました。

**(2) 研究・普及事業**（資料10頁～16頁参照）

① 関連資料の整理・保存、調査・研究、情報収集活動

山頭火ふるさと館の収蔵資料は、大切に整理・保存しました。

資料については、展示するにあたり学術的な調査・研究を行い、その成果を企画展ごとの図録や館報などで発信しました。

② 展示活動

ア 特別企画展等

常設展示だけでは十分に紹介できない、山頭火や山頭火を取り巻く人々、自由律俳句の魅力等を観覧者に伝えるための企画展を開催しました。

a 企画展①「山頭火とふるさと防府」

平成30年3月10日（土）～5月6日（日）

関連イベント 絵手紙を作ろう！ 4月29日（日）

b 企画展②「山頭火と定型俳句」

平成30年5月11日（金）～7月1日（日）

関連イベント ギャラリートーク拡大版 ～田螺公から山頭火まで～6月9日（土）

c 特別企画展「山頭火を囲む人々」

平成30年7月6日（金）～10月8日（月）

d 企画展③「常識を打ち砕け！自由への誘い ～自由律という名のルール～」

平成30年10月13日（土）～12月2日（日）

e 企画展④「淡きこと水の如し ～山頭火の愛した水～」



平成30年12月7日（金）～平成31年2月3日

関連イベント コリントゲームで遊ぼう！ 11月24日（土）

f 企画展⑤「うしろすがたが見つめた先に ～山頭火の一人旅～」

平成31年2月8日（金）～4月7日（日）

イ 常設展示

導入展示室と常設展示室では、山頭火の生涯や人間的な背景を紹介するパネルと資料を展示しました。

ウ 無料ゾーン

「防府ゆかりの文藝家たち」のパネルによる展示のほか、「市民ギャラリー」では、山頭火ふるさと館のイベントで参加者が作成した作品や、和紙人形の展示を行いました。また、毎月「今月の一句」を選んで掲示し、来館者に紹介しました。

「ふるさと展示交流室」には、俳句に親しむ人の増加を目指し、投句箱を設置しました。なお、投句箱は、より多くの方々に投句していただけるように、防府図書館とアスピラートにも設置しました。

③ 教育普及活動

「山頭火をうたい、山頭火にしたしみ、山頭火をつたえる」ことを目的に、山頭火や自由律俳句をテーマとした講座やイベントを企画し、交流室を利用して開催しました。

小・中学校などの社会見学や公民館での講座も積極的に誘致しました。なお、団体利用等の観覧者から要望があったときは、職員が解説を行いました。

ア 山頭火を学ぶ会

平成30年5月26日（水）から計10回

イ 自由律俳句講座

a 自由律句を学ぶ会

平成30年6月13日（水）から計10回

b 自由律句で遊ぼう！

平成30年6月30日（土）から計10回

ウ 書道コンクール

応募期間：7月6日（金）～9月10日（月）

審査会：9月26日（水）

（審査員 小・中・高等学校国語教育研究部会の先生4名）

表彰式：10月7日（日）

エ 自由律俳句大会

応募期間：平成30年6月1日（金）～12月31日（月）

審査会 : 平成31年1月14日(月)  
(審査員 富永鳩山、門田美和子、西田稔)

表彰式 : 平成31年2月10日(日)

オ 山頭火カルタで書き初め大会  
平成31年1月5日(土)

カ フォトコンテスト  
平成31年3月1日(金)～募集開始

キ 書籍『生きる力。』  
平成30年11月25日出版

#### ④ 交流活動

交流室では、毎月一回、合唱団「ふるさとコール」が山頭火句を用いた曲の練習を行い、来館者との交流を図りました。

うめてらすネットワーク交流会議に毎月出席して情報共有しながら、うめてらすや周辺の商店街、地域住民団体と、引き続き良好な関係を築くよう努めました。市内の公民館には「今月の一句」を掲示してもらいました。

山頭火関連の書籍を多く出版している春陽堂書店の開催する「第一回種田山頭火賞」への出席、やまぐち文学回廊構想推進協議会主催の文学散歩や小豆島尾崎放哉記念館への講師派遣など、文学館として学術的な機関との交流も深めました。

#### ⑤ 本財団内部の連携事業

自由律俳句大会の開催にあたり、投句箱を防府図書館とアスピラートに設置しました。

また、館内に掲示していた「今月の一句」は、財団の各施設にも掲示し、財団全体で山頭火ふるさと館を周知するネットワークづくりに努めました。

アスピラートで開催した「山下清展」では、山頭火ふるさと館の観覧チケットの提示で割引をおこない、相互の事業発展につなげました。

### (3) 管理業務

#### ① 施設・設備・備品の維持管理と環境整備

施設・設備・備品の点検と日常的な修繕を計画的に実施しました。お客様から施設の不備などのご指摘があった場合は迅速に対応し、より分かりやすいご案内に変更しました。また、館内および館周辺の日常かつ計画的な清掃業務を行うことにより、来館者が安全で快適に利用できる環境整備に努めました。

#### ② 保安・警備・防犯対策

山頭火ふるさと館には無料コーナーがあり、誰もが自由に入出りできる環境にあるため、職員による定期的な見回りや監視カメラの活用により、常に的確な館内・館外の状況把握・防犯管理に努めました。

#### ③ 危機管理

緊急時に適切に対処するため、危機管理体制の整備、消防法等の関係法令に基づく年2回の定期訓練を実施しました。

2月7日（木）には防府消防本部の救急救命士に来ていただき、AEDの使用についての訓練を行いました。

### 3 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

第三期指定管理期間の3年目となった平成30年度は、開館20周年を迎える節目の年となりました。そこで、開館20周年にふさわしい話題性のある企画展を開催し、多くの方々にソラルの魅力を発信し、科学の楽しさや面白さが伝わるような事業を実施して参りました。

また、防府市が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のセルビア共和国のホストタウンに登録されたことに伴い、平成30年度は、セルビア共和国が誇る天才発明家「ニコラ・テスラ」に関する特別展や関連事業を実施しました。

#### (1) 教育普及事業（資料18頁～20頁参照）

##### ① 日常事業

当館の常設展示は、光と色の性質や身近な科学現象の原理などを紹介する「光の謎を解き明かせ！」の展示装置をはじめ、地域の自然や、宇宙と太陽の謎や生命の進化の歴史に触れることのできる回廊展示室の展示など、参加体験型の展示を中心に構成されています。これらの展示については、利用者がいつ来館されても安全に楽しく体験できるよう対応しました。

また、週末や祝日には、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーも実施し、科学を楽しく学ぶ機会を提供しました。

##### ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催し、8,253人もの参加がありました。「ふしぎな動き！？コロコロ人形」など8種類の工作を実施し、企画展や特別展に合わせたテーマにしたり、科学的な原理、原則が学習できるようにしたりと、内容を工夫しました。

また、工作希望の団体利用の皆様にも工作教室を実施し、9団体、389人が参加されました。

なお、企画展「コロコロ探検ランド」会期中には、企画展のテーマに合わせ前期・後期2種類の科学工作を提供し、サービスの充実とリピーターの確保に努めました。さらに、企画展「ネイチャーテクノロジー展」会期中には、「紙技！とぶタネ工作」と題して、来館者が説明書を見ながら簡単に5種類の工作を体験できるコーナーを用意し、土・日・祝日だけでなく平日でも体験ができ

るよう工夫しました。

#### イ サイエンスショー

楽しみながら科学への興味を深めるため、土・日・祝日に1日3回サイエンスショーを実施するとともに、平日は学校団体などの要望にもお応えしました。

また、特別展「ニコラ・テスラ展」の会期中は、サイエンスショーに替わりテスラ・コイルの放電実験を、土・日・祝日だけでなく、平日も行いました。

本年度は、366回実施し、12,908人の方々にご覧いただきました。

#### ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを迫及したりする科学教室を実施しました。科学を掘り下げて学べる少人数の講座で、本年度は地学実験教室「海の生き物の化石を探そう」や電気工作教室「モーターでトコトコ歩くアヒル」など合計27講座を開催し、590人の受講者がありました。

### ② 特別事業

開館20周年にふさわしい話題性のある企画展を開催し、多くの方々にソラールの魅力を発信し、科学の楽しさや面白さが伝わるような事業を実施して参りました。

また、防府市が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のセルビア共和国のホストタウンに登録されたことに伴い、セルビア共和国が誇る天才発明家「ニコラ・テスラ」に関する特別展を実施しました。

#### ア 春休み工作教室

従来から春休み期間中に、年度をまたいで実施していた工作教室を、平成30年度からは、年度が明けてから8日間開催しました。「香りがいっぱい発泡入浴剤」など有料の教室を、2日毎に内容を入替え、6日間で3種類実施しました。また、「風でくるくる！コップ風車」など材料費無料の教室を1日2教室、2日毎に内容を入替え、8日間に8種類の工作を行い、2,224人もの来館者がありました。

#### イ 企画展「コロコロ探検ランド ～木のおもちゃで楽しくコロコロしよう！～」

“コロコロ転がる球体”をテーマに、木で作られたたくさんの体験装置により、球体をコロコロと転がす多様な体験ができ、さらに、回転、分岐、迷路等の様々なサブテーマによって分けられた多様な装置を体験していくことにより、幼児から大人まで幅広い世代の方々が、力学を楽しく学ぶきっかけづくりを目的として、コロコロ探検ランドを開催しました。

土・日・祝日だけでなく、平日にもたくさんの親子連れが来館され、大盛況でした。

また、企画展関連の特別講座として、糸ノコを使った工作教室を2回開催し、どちらもすぐに参加申込みが定員に達する盛況ぶりでした。

会期中は、14,978人もの来館者で賑わいました。

#### ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

公益社団法人発明協会が募集する「未来の科学の夢絵画展」を、例年同様に開催し、1,130人の来館者がありました。

会期中、イラストレーターわたなべえつこさんによる「似顔絵教室」も実施し、大変盛況でした。

#### エ 「サイエンスアカデミー2018」

平成25年度から始まった「サイエンスアカデミー」も、平成30年度で6回目を迎えました。当年度も、講師に小・中学校、高等学校、大学などの先生方をはじめ、企業や博物館の皆様をお迎えし、幅広い分野の36講座を実施しました。また、随時工作も毎日実施しました。

これらの講座は、幼児や小・中学生の科学的好奇心を刺激し、科学のおもしろさを知ってもらうことのできる内容で、企業等から協賛、協力を得て開催しております。

会期中の来館者数は6,117人でした。

なお、台風接近のため、1日ほど臨時休館しました。

#### オ 企画展「ニンニン・忍者展 ～忍びの学び！ニンジャ道場～」

国内外で人気のある「忍者」をテーマに、忍者について深く掘り下げ、忍者とは何者か、どのように暮らしていたのかを探り、科学的要素がたくさん詰まっている忍術や忍者の道具、暮らしを科学的視点から捉えた展示を中心に、実際に体験することや当時の実物資料を見ることで、日本の古来の知恵のすばらしさや、歴史を感じ取り、さらなる科学への興味の喚起へとつなげることを目的に開催しました。

会期中は、27,773人もの来館者があり、大いに賑わいました。

#### カ 防府市小中学校科学作品展

毎年、防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年展示しています。本年度は、小学校の部302点、中学校の部154点の作品を展示し、会期中の来館者は1,781人でした。

#### キ 企画展「ネイチャーテクノロジー展 ～自然のミカタ×未来のミカタ～」

誕生から46億年といわれる地球の歴史、38億年にわたる生命の歴史が創り上げた自然循環の中で、自然はこれまで、あらゆる形の淘汰をくり返し、試行錯誤をくり返した結果、最も小さなエネルギーで動くことのできるしくみや、

完璧に循環していくつながりの体系を創り上げてきました。この知恵を学び、自然の中に驚くほど多く潜んでいるテクノロジーの種を賢く活かした新しいものづくりとともに、私たちの暮らしのかたちを創り直し活かそうとする新しい試み「ネイチャーテクノロジー」が、現在世界中で求められており、注目されています。

本展は、防府市の企業版ふるさと納税を活用した事業の一環として、企業や研究機関にご協力いただき、どんな生き物から、どんな技術やものが生み出されているのかを、生物と実際の技術を実物資料や写真パネル、体験展示等を通して、自然に隠されたものづくりのヒントや実例について紹介しました。

また、市内の様々な「ものづくり」を生業とされる企業にもご協力いただき、その企業の製品などを展示しました。

さらに、ネイチャーテクノロジーの第一人者である石田秀輝氏（東北大学名誉教授・合同会社地球村研究室代表社員）による講演会も実施しました。

会期中は5,629人の来館者数で賑わいました。

#### ク 「ソラールのクリスマス2018」

来館者が科学に触れるとともにクリスマスを楽しむ場を提供する毎年恒例の特別企画です。

昨年度から、より多くの方々に参加していただけるよう随時参加できる工作を1日2教室に増やし、「虹がいっぱい！虹色万華鏡」などの3日間で6種類の随時工作（材料費無料）を実施したほか、有料の工作として「色んな色のクリスマスキャンドル」など3日間で3種類の工作を行いました。また、バルーンアートショーを2日間実施したり、発明クラブ員の作品展示を行いました。会期中は、1,760人の来館者で賑わいました。

#### ケ 特別展「ニコラ・テスラ展 ～エジソンのライバルと言われたセルビアの天才発明家～」

ニコラ・テスラは、エジソンのライバルとも言われた天才発明家で、現在世界中で広く使われている交流電力システムの生みの親であり、さらに、蛍光灯、TVのリモコン、車の電子キー、ラジオ、電子レンジなどの原理を考案及び発明したセルビア人です。

本展は、ソラール開館20周年記念特別展として、また、防府市のホストタウン推進事業の文化交流事業の一環として開催し、セルビア共和国のニコラ・テスラ博物館公認のニコラ・テスラ展としては日本初開催となりました。

ニコラ・テスラ博物館が所蔵しているテスラの貴重な資料を多数展示するとともに、開館日は毎日、テスラ・コイルの放電実験などを行い、日本全国におられるニコラ・テスラファンの方を始め、多くの来館者で賑わい、開館20周

年記念事業を締めくくる特別展となりました。

また、毎週日曜日（1月は26日（土）のみ）には、中国電力（株）山口営業所の方に出版協力していただき、発電の仕組みが楽しく学べる体験型ブースも行っていただき、子ども達に人気のブースとなりました。

さらに、会期中は、2月15日のセルビアナショナルデーに合わせ、来館者にクリアファイルをプレゼントし、2月22日には本展来館者5000人のセレモニーを行い、本展最終日には最後のテスラ・コイルの放電実験では、演奏する曲目を増やすとともに、最後に来館された方へはサプライズで記念品を贈呈したりと、様々なイベントを実施しました。

なお、ニコラ・テスラの啓発活動の一環として、夏休み前に、防府市内の小・中学生に向けて、電気やニコラ・テスラに関する自由研究や工作を募集し、優れた作品には表彰及び記念品を贈呈する旨の告知を行ったところ、多くの作品が出品されました。これらを審査し、小学校・中学校それぞれ最優秀賞を1点・優秀賞を2点ずつ選び、賞状と記念品を、各学校の校長先生から児童・生徒へ渡していただきました。

会期中は、8,669人の来館者があり、盛況裡に終えることができました。

## **（2）情報収集保管事業（資料20頁参照）**

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像は、デジタルデータとして保管に努めました。また、昨年度末に寄附金をいただきましたので、一部を標本資料の購入に充てました。

## **（3）啓発調査研究事業**

科学教室や工作などの教材開発に取り組むとともに、新たなサイエンスショーのメニューの開発に取り組みました。

## **（4）学校連携事業及び外部連携事業（資料21頁～24頁参照）**

### **① 学校連携事業**

予めサイエンスショーや工作教室の希望のあった学校団体向けには、社会見学の時に館内でご希望の講座を実施しました。また、小学校への出前講座などを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行いました。

また、博物館実習をはじめ、インターンシップや職場体験学習による人材育成支援も行いました。本年度は、博物館実習として大学生3人（通信制含む）、理科学外研修として短大生3人、インターンシップとして高校生1人、高専生5人、大学生1人を受け入れました。その他、市内の中学校2校から合わせて4人の職場体験学習を行いました。

さらに、教職員の研修として、社会体験研修では、県内の小学校から3人、中学校から2人の教職員を受け入れました。教員研修では、山口市の小学校教員8

人を受け入れ、アンモナイト化石のレプリカ制作実習を行いました。

## ② 外部連携事業

地元コミュニティFMや団体、地域の公民館等と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができる講座などを積極的に実施しました。

また、毎年恒例の発明科学教室や宇宙教室を実施するとともに、電池工業会から講師を派遣していただき、手作り乾電池教室など2講座を開催しました。

さらに、防府市との連携として、環境教育特別講座や防府市教育“夢”プロジェクト「菅公みらい塾」も開催しました。

## (5) 科学教育普及指導員派遣事業

防府市内の公民館や児童館などへの出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の元専門職員（9名）が科学教育指導員となり、講座を実施しました。本年度は12回実施し、381人の方に科学の不思議さや楽しさを伝えることができました。

## (6) 防府市青少年発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も18年目になりました。ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」の皆様の多大なお力をいただき、充実した活動を行っています。

一般社団法人山口県発明協会主催の「2018やまぐち未来の科学の夢絵画展」では、応募総数43点のうち、優秀賞1点、奨励賞2点、佳作13点、合計16点が入選しました。

## (7) 科学施設の管理運営

### ① 防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された当施設は、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

#### ア 施設整備・運営

平成30年12月には、市の企業版ふるさと納税による資金により、常設展示物の一部リニューアルが行われ、すきとおる鏡・光の三原色が設置されました。

また、故加屋野洋先生のご遺族からの指定寄附により、高さが異なる3つの位置からボールを転がして、ジャンプしたボールの高さや距離などの違いを体験する「コロコロジャンプ」と、標本資料として「サヌカイト<1オクターブ>」と「化石標本100種」を購入させていただきました。

施設においては、開館から20年が経過し、館内の各制御装置や設備機器な



どに大規模更新の時期が到来しており、また各所の老朽化による設備の不具合等が発生しているため、防府市への報告を行うとともに、今後の対策を検討してまいります。年度内は、小規模な修繕等を実施しながら、各種設備の点検を定期的に行い、ご来館者に館内外で安全に快適に過ごしていただけるよう維持管理に努めました。

さらに、平成27年度からの取り組みとして、県内の小中学校に向け年間行事のご案内をするとともに、社会見学の引率教職員を対象とした無料招待券を送付しました。その結果72件217人に招待券を利用いただきました。年間の社会見学の件数は182件で、例年並みでした。

#### イ 利用状況（資料25頁～26頁参照）

平成30年度は開館20周年記念事業などを実施し、76,156人の入館者があり、開館以来2番目に多い入館者数を記録しました。

また、館外普及活動として、市内小学校での出前授業や児童館・公民館の家庭教育学級などへの派遣講座を行い、2,379人の参加をいただきました。

入館者及び館外参加者人数は総合計で78,535人になりました。

## 4 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育や社会教育の学習効果を高めるために、視聴覚教材や機材を整備して、市内の学校など諸教育施設に広く活用していただくことを目標に活動をしました。

### (1) 視聴覚機材や教材の計画的な充足（資料27頁参照）

平成30年8月27日に運営委員会を開催し、平成29年度の事業報告及び決算について、平成30年度の事業推進状況報告及び予算について、更に平成31年度の事業計画についてご審議いただき、活発な意見交換をしていただきました。

本年度は、教材の充足に重点を置き、環境問題について学習していただくために「さくらとサクリン雑木林のひみつ」、「もったいないばあさんと考えよう世界のこと」、「災害ケーススタディ とっさの判断！君ならどうする？」、アニメーションとして楽しめるほか、国語の教科書に採用され授業の教材としても使用できる「アニメ 漢詩・漢文の世界シリーズ」や「児童文学ライブラリー 9巻」などのDVDを、合わせて16本購入しました。

また、自主制作教材として、防府市富海で、藍染めの郷づくりに協力している地域おこし協力隊隊員3人と、藍作に携わっている地域住民や市の職員たちの活動を記録した「とのみブルー ～藍染めの郷づくりを目指して～」を制作しました。

### (2) 視聴覚機材や教材の貸出管理（資料27頁～28頁参照）

視聴覚機材の貸出は、267件、1,123日でした。

視聴覚教材の貸出は、39件、391日でした。また、本年度も教材目録の「追録」

を作成し、配布を行いました。

機材・教材の貸出は、年々減少傾向にあるため、市内小中学校や貸出対象となる団体へ向けたPRを行ってまいります。

### **(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映**（資料29頁参照）

多目的ホールで、月替わりに、青少年科学館の科学事業の企画目的に沿う教材や、科学により興味を持っていただけるような教材を中心に上映しました。

クリスマスや春休み期間には、小さなお子様向けのアニメーションを上映しました。

### **(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送**（資料29頁参照）

防府市小学校教育研究会視聴覚研修部の先生方が、当ライブラリー保有の視聴覚教材の中から、巡回ビデオ用教材30項目を選定されました。

平成30年6月5日から平成31年2月21日にかけて、市内17小学校で順次ビデオ映画会ができるように、その教材の配送をしました。

### **(5) 講習会の開催**（資料30頁参照）

#### ① ビデオ撮影編集講習会

本年度も、ビデオ編集の基本テクニックを学ぶ講習会を行いました。9月27日・28日の2回シリーズで開催し、延べ9人が参加しました。講師は、防府映像サークル等から派遣していただきました。

#### ② タブレット講習会

「タブレット活用講習会」を、昨年度に引き続き実施しました。2月6日の午前・午後と2回の教室を開催し、どちらも定員10人の参加がありました。講師は、山口ケーブルビジョンから2人の講師を派遣していただき、初心者向けのわかりやすい講義をしていただきました。

### **(6) ホームページの充実**

ホームページ上での教材目録の検索ページの更新、保守を行いました。

## **5 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業**

（資料31頁～33頁参照）

教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報提供サービスの向上・強化を図るとともに、その資料・情報を活用できる生涯学習活動の場として、集会・文化活動の推進に努めました。

また、「防府市図書館サービス振興基本計画」や「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館利用促進や読書活動推進のための施策に取り組みました。

※具体的な数値統計については、別紙利用統計他を参照。

### **(1) 図書館資料・情報提供サービス事業**

## ① 資料収集業務

図書館資料の選書・収集を「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実に努めました。

地域資料については、地方紙の記事他から積極的に情報収集し、行政関連資料及び歴史・地誌・民俗・教育・芸術・文学等、多岐にわたる分野の資料収集を行い、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めました。

## ② 資料管理業務

### ア 資料の受入れ・目録整備

資料の受入れに際しては、受贈資料も含めて体系的に管理するため、迅速・正確な資料組織化・装備を行いました。資料受入れと同時に、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）検索画面等を作成・提供しました。

### イ 資料の分類・書架管理・蔵書点検等

資料の分類は日本十進分類法新訂8版に基づき適切な書架分類と配列を行い、常に書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料を迅速に処理しました。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行いました。10月2日（火）・3日（水）・4日（木）と3月5日（火）・6日（水）・7日（木）に全開架資料の蔵書点検作業を行いました。

## ③ 資料提供業務

窓口カウンターでの、資料の貸出・返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、常に正確・迅速に行うよう努めました。また、個人情報保護の観点から、自動貸出機利用奨励のための案内を行いました。

## ④ 図書館コンピュータシステム管理業務

ホームページの記事やチラシ案内等により、利用者がWeb上でできる資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳、利用者が読みたい本や既に読んだ本を管理できるMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用促進に努めました。本年度の読書手帳頒布数は、358冊（3月末現在）でした。

## ⑤ 情報提供・広報業務

### ア 図書館ホームページ

ホームページを適切に管理運営するため、随時情報を更新し、内容の整備と情報提供サービスの充実に努めました。

### イ 広報紙等・その他のメディア

「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」（以

上月刊)、「行政関係図書紹介」(季刊)等の広報紙を発行し、行事関係チラシ等をその都度作成するとともに、市広報「ほうふ」(月2回刊)及び防府市文化振興財団機関紙「イベントアイ」(隔月刊)に図書館関係記事を定期的に掲載しました。

また地域コミュニティーFMラジオ「FMわっしょい」の『防府市からのお知らせ 情報モリモリ』に、図書館職員が毎月第2・4木曜日に定期出演し、情報発信に努めました。さらに、同局において図書館主催のビブリオバトルの告知番組を提供出演(5月4日(金)・6月27日(水)・10月25日(木))するとともに、山口ケーブルビジョンのデイリーニュース番組「まちかどNEWS」(5月25日(金))に出演しました。

#### ウ 図書館年報

「平成29年度図書館年報」及び「数字で見る防府図書館(平成29年度の統計より)」を5月30日(水)付で発行し、ホームページにも掲載しました。

### ⑥ サービス環境整備業務

#### ア 施設・設備・備品の維持管理と環境整備

図書館施設・設備・備品の点検と修繕を適切に実施し、恒常的で計画的な清掃業務を行うことにより、安全で快適に利用できる環境整備に努めました。

#### イ 保安・警備・防犯対策

施設管理会社・警備会社・警察等との連携を密にしながら、常に的確な状況把握と防犯管理、安心安全な利用環境の整備に努めました。安全管理上問題がある行為や迷惑行為・不当要求に対しては、毅然たる態度で対応しました。

#### ウ 危機管理

AEDや防犯カメラの点検を毎日開館前に行い、施設の危機管理マニュアルに基づき、常に事故や犯罪等の発生に迅速・的確な対応が取れるよう備えました。

施設管理会社との定期協議を毎月1回行い、複合施設全体に係る情報共有に努めました。

10月4日(木)と3月7日(木)に図書館単独の消防訓練を行うとともに、別途ルルサス防府全体の消防訓練にも参加、2月5日(火)には普通救命講習を実施し、火災や緊急事態に対する備えの態勢整備に努めました。

#### エ 利用マナー啓発活動

「マナーアップキャンペーン」(会期7月1日(日)～8月31日(金))を実施し、小学生までを対象とした「グッドマナーチャレンジ」では、グッドマナーチャレンジカードを1,012枚(昨年度180枚)配布し、目標達成者は183人(昨年度36人)でした。

### ⑦ 移動図書館運行業務

市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車に常時4000冊近い図書を

積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回しました。

4月1日(日)、佐波神社で開催された「二輪のサクラ祭」(主催・大村能章顕彰会協賛・多々良自治会)において、移動図書館車の臨時出張サービスを行うとともに、地元在住の作家・那須正幹氏の著書を展示しました。また、7月22日(日)イオンタウン防府で開催された「みんな集まれ!はたらく車展」、9月29日(土)防府駅てんじんぐち多目的広場で開催された「防府市緑化祭」で臨時出張サービスを行うとともに、11月4日(日)JAふれあい西浦支所で開催された「西浦まつり」、11月11日(日)大道小学校で開催された「大道まつり」でも、臨時出張サービスを行いました。

## ⑧ 参考業務(調査研究相談・読書相談業務)

### ア 調査研究相談業務

資料相談カウンターにおいて司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行いました。

国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加登録が6月25日(月)付で承認されたことに伴い、レファレンスサービスの内容が充実してきました。

また、ホームページの記事やチラシ案内等により、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス閲覧業務の更なる利用促進に努めました。

他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり利用者をそれらの機関へ案内・紹介する、レフェラルサービスを行いました。

児童カウンターでは、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援しました。

さらに、レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト(「新一年生向け 本のご案内」「おすすめ赤ちゃん絵本」等)・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の作成・整備に努めるとともに、レファレンス研修への参加や利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化に努めました。

### イ 図書館資料の複写サービス

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施しました。

## ⑨ 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づき100冊の資料を相互に寄贈し、受贈した資料を広く市民の利用に供しました。

## ⑩ 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務や、貸出文庫業務を積極

的に行うとともに、学校司書の研修の機会や場の提供に努めました。学校司書のための著作権講習会を、10月22日（月）に図書館で開催しました。

⑪ 地域文庫・団体貸出業務

市内15ヶ所の公民館に配本所を設置し、200冊の図書を3か月に1回交換する地域文庫業務を行いました。

毎月の公民館・出張所会議に出席し、地域文庫に係る諸連絡・利用案内等を行いました。

また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫業務を行いました。

⑫ 他の図書館や博物館・文書館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等を積極的に行うとともに、博物館や文書館等との連携（MLA連携）にも努めました。

⑬ 障害者・高齢者へのサービス業務

行政やボランティア団体等と連携・協力し、点字・音声資料・大活字本・布絵本等の整備に努めるとともに、視覚障害者への郵送貸出・視覚障害者用音声付インターネット設備等のサービスを行い、4月にリーディングルーペとリーディングトラッカーを導入しました。

ホームページに掲載している障害者・高齢者向けのサービス業務の内容を随時更新し、リーフレット「防府図書館障害者サービスのご案内」を11月に発行して、障害者サービスの周知に努めました。3月には、同リーフレットの点字版が点訳ボランティア「青い鳥の会」の皆さんにより発行され、受贈した資料を図書館資料として登録しました。

## （2）集会・文化活動推進事業

① ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

4月26日（木）に開催された「防府図書館利用者・サークル連絡会活動発表会」第1回において、図書館職員による「図書館」に関する図書のブックトークを、また11月22日（木）に開催された第2回目の発表会においては、「食育」に関する図書のブックトークを行いました。更に、2月27日（水）に開催された同会の「図書館講座Ⅰ」において、図書館職員によるブックトークと館長による講演「日本図書館概史よもやま話」を行い、3月28日（木）に開催された「図書館講座Ⅱ」においては、「防府図書館のサービスのあり方について思うこと」と題する、館長による講演を行いました。

「第8回防府市子ども読書フェスティバル」を、実行委員会、ボランティア団体等と協働で5月27日（日）に開催し、「子ども読書のまち・防府」第8号を7月2

5日（水）付で実行委員会から発行しました。

また、「第28回防府図書館まつり」を、実行委員会、ボランティア団体等と協働で10月20日（土）に開催し、「図書館のまち・防府」第7号を11月22日（木）付で実行委員会から発行しました。

## ② 図書館主催ボランティア活動推進業務

ア 「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月24日（木）に開催し、図書館サービスの更なる向上を図るため、現状と課題についての意見交換、各ボランティア間における情報交換を行いました。

イ 図書館ボランティアの新規育成と更なる能力向上を図るための講座、「図書館ボランティア養成講座」を、2月7日（木）・14日（木）・21日（木）・28日（木）の4回シリーズで開催しました。

## ③ 図書館主催イベント・懇談会業務

### ア 講演会

「第8回防府市子ども読書フェスティバル」（5月27日（日）開催）において、元福音館書店編集長の松本徹氏による講演会（演題「絵本の底ちから」）を開催しました。

また、講演会「チャレンジ！調べ学習『歴史について探そう！調べよう！考えよう！』」（講師：防府市文化財郷土資料館学芸員・鞆雅子氏）を、8月4日（土）に開催しました。

### イ 防府図書館ビブリオバトル

小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル（知的書評合戦）」の平成30年度第1回目を「第8回防府市子ども読書フェスティバル」（5月27日（日））の中で開催し、第2回目を7月22日（日）、第3回目を11月12日（月）に開催しました。

### ウ 防府図書館利用者懇談会

図書館サービスの向上を図るために利用者の意見や提言を聴く「防府図書館利用者懇談会」を、11月29日（木）に開催しました。

### エ クリスマスおはなし会

12月15日（土）、第1回目の「クリスマスおはなし会」を開催しました。職員がサンタクロースに扮して登場し、大好評を博しました。

## ④ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、及び新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、時宜に即したテーマを選定し定期的に行いました。

また、上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承を行う事業の一環とし

て、防府市教育委員会がアスピラート展示ホールで5月2日（水）から28日（月）まで開催した「上山満之進没後80年展」を共催しました。展示室では常設展示「上山満之進と三哲文庫」を行いました。

新聞・雑誌コーナーの壁面では、6月4日（月）から18日（月）まで布絵本「結う」の皆さんが制作したタペストリーの展示会「うみのたんけん」を、11月7日（水）から12月3日（月）まで「アトリエ ポン」の皆さんによる「油絵小品展」を開催しました。また、2月6日（水）から14日（木）まで「平成30年度山口県統計グラフコンクール」の入賞作品を展示し、3月2日（土）から17日（日）まで富海小学校のグローバル・コミュニケーション科についての展示、3月18日（月）から4月19日（金）まで「えじたま」の皆さんによる展示『世界自閉症啓発デー』『発達障害啓発週間』～つたえたい私たちの想い』を行いました。

⑤ 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

生涯学習グループの活動拠点として図書館の活用を推進するため、研修室他、集会スペースの利用許可等の業務を適正に行い、グループ学習のための機会・場・設備・資料等を各団体に提供しました。

また、研修室については、利用予定の無い日に学習室として開放しました。

⑥ 防府史料刊行業務

「防府史料」第68集『若月保治著 近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』下巻を、3月31日付で発行しました。

⑦ 子どもの読書活動推進のための業務

ア 子ども図書館員

子どもたちが図書館サービスについての理解を深めるための啓発活動の一環として、8月6日（月）と10日（金）に、小学校4年生～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催しました。

イ 防府市図書館を使った調べる学習コンクール

市内の小中学生を対象として「第6回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」（募集期間8月1日（水）～9月30日（日））を、防府市教育委員会と共催しました。応募点数は、小学生60点 中学生11点でした。10月31日（水）に審査を行い、小学生は金賞1点・銀賞2点・銅賞1点、中学生は銅賞2点、小学生の上位2点を全国コンクールに出展しました。12月5日（水）の表彰式で、館長が作品の講評を行いました。

ウ 職場体験・図書館見学等の奨励

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等について積極的に受入れをし、子どもたちの図書館への理解促進と利用拡大に努めました。

エ ボランティアとの連携・協働



毎月2回開催される「おはなしでんしゃ」の時間内に、毎回、図書館職員による絵本のブックトークを行いました。

6月15日（金）に開催された「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会において、図書館職員による「本の修理講座」を行いました。また、11月26日（月）と2月28日（木）に開催された同会の研修会においては、図書館職員による新刊絵本・児童書のブックトークを行いました。

#### オ 出前講座・出張イベント等の開催

月1回、第3日曜日の14時30分～15時、「家庭の日」の読書推進活動の一環として、イオン防府店3階キッズレジ横あそび場で、図書館職員による「ほうふとしょかん出前おはなし会」を開催しました。

7月14日（土）、小野小学校2年生の土曜授業に図書館職員が出張し「ミニビブリオバトル」を実演、11月16日（金）には「子ども家庭支援センター“海北”」へ出張し、絵本の読み聞かせを実施しました。

#### ⑧ 本財団内部の連携事業

毎月1回、財団内連携推進会議を開催し、各館の事業等に関する情報交換をするとともに、連携事業実施についての協議を行いました。

財団設立20周年記念ロゴマークを制定して、ロゴマーク入り財団旗を各館に一枚配付し、公用車用のロゴマーク入りマグネットを作成しました。

#### ア 文化事業との連携

アスピラート開館20周年記念「マイメロディ♡・キキ&ララ☆展」（会期7月7日（土）～8月5日（日））との連携企画として、関連資料展示「みんな大好き♡サンリオ」（7月4日（水）～7月20日（金））を行いました。

また同20周年記念「山下清とその仲間たちの作品展」（会期10月11日（木）～11月11日（日））との連携企画として、図書館から往時の新聞等の資料を提供し、図書館での関連資料展示「画家・山下清の世界」（10月5日（金）～20日（土））を行いました。同展記念講演会（10月13日（土））とスペシャルギャラリートーク（10月14日（日））には図書館職員も参加しました。

#### イ 科学事業との連携

ソラール自然観察教室「サクラの観察」（4月8日（日））に、図書館職員が参加しました。

ソラール開館20周年記念「ニンニン忍者展～忍びの学び！ニンジャ道場～」（会期8月7日（火）～9月9日（日））との連携企画として、関連資料展示「ニンニン・忍者！」（8月8日（水）～9月3日（月））を行うとともに、リーフレット・ミニブック・かわらばんを作成・配布しました。

同20周年記念「ネイチャーテクノロジー展～自然のミカタ×未来のミカタ～」

(会期10月16日(火)～12月2日(日))との連携企画として、関連ミニ資料展示「ネイチャーテクノロジー」(10月21日(日)～11月5日(月))を行うとともに、「ネイチャーテクノロジー展特別講座」(10月21日(日))に図書館職員が参加しました。

また、「紅葉どんぐり便」の受付窓口を、図書館と移動図書館車に11月1日(木)から23日(金)まで設置し、かわらばんを作成・配布、特別講座「どんぐり教室」(10月28日(日))・「紅葉教室」(11月18日(日))に、図書館職員が参加しました。全部で約35キロの紅葉・どんぐりが集まり、12月3日(月)、ソラールから沖縄の小学校へ向けて、メッセージとともに発送されました。これを受け取った沖縄の小学生からは、お礼の手紙が届いています。

ソラール開館20周年記念「ニコラ・テスラ展～エジソンのライバルと言われたセルビアの天才発明家～」(会期1月26日(土)～3月3日(日))との連携企画として、関連ミニ資料展示「ニコラ・テスラ」(1月20日(日)～2月4日(月))を行いました。

#### ウ 山頭火ふるさと館との連携

山頭火ふるさと館自由律俳句大会のための投句箱を、図書館に設置しました。

また、山頭火の「今月の一句」と解説の展示を、月替わりで行いました。

11月8日(木)に山頭火ふるさと館等で開催された、山口県地域活動(母親クラブ)東部ブロック研修大会で、館長が防府出身文学者についての講演・ギャラリートーク「ふるさとの文学者の話」を行いました。

11月12日(月)に図書館で開催した本年度第3回ビブリオバトルにおいて、山頭火ふるさと館の職員が、バトラーとして発表を行いました。

## 6 収益事業

チケットの受託販売や、有料駐車場の運営、科学館、山頭火ふるさと館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

### (1) 文化施設の管理運営

ホールでの式典、研修会や講演会、その他の施設での展示即売会や会議、研修会など、各施設の公益目的以外の利用についても積極的に貸与し、施設の有効利用を図るとともに、地域振興の拠点となるよう努めました。利用者アンケートや市民からの提言などに基づいて、可能な限り各種改善を行い、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

## **(2) 有料駐車場の管理運営**（資料34頁参照）

今年度は大きな大会等も開催されたため、利用が増加しましたが、平成31年1月から開始した公会堂の耐震補強・大規模改修工事に伴い、年度途中で有料駐車場を閉鎖したため、当年度の利用料金収入は、2,382,650円となり、前年度とほぼ同額となりました。

精算機等の駐車場機器については、開設から18年ほどが経過し老朽化による故障が頻発しており、部品供給期間も終了していることから修理もままならない状況でしたが、利用者にご迷惑をおかけしないように努めて維持管理を行いました。

今後の有料駐車場の維持管理については防府市と協議をしながら進めていきます。

## **(3) 青少年科学館ミュージアムショップの運営**

ミュージアムショップでは、科学館にしかないような科学グッズや実験セットなどの販売を行っています。各企画展開催中には、それぞれの企画展の内容に合った、科学により興味を持っていただけるような商品を期間限定で販売しました。

また、「明治150年記念ピンバッジ」や「幸せます」など、山口県や防府市のPRグッズも販売しました。

## **(4) 山頭火ふるさと館ミュージアムショップ**

受付横のショップで、山頭火の句をデザインしたポストカードや一筆箋などのふるさと館オリジナルの商品のほか、山頭火に関わる書籍、防府市上下水道局の淡如水など、山頭火ふるさと館来館の記念になるような物品を、平成29年度に引き続き販売しました。

平成30年度は新たに、日本酒「山頭火」のほか、新たに出版された山頭火に関する書籍や、山頭火ふるさと館が編集した『生きる力。』などの取り扱いを始めました。

# **Ⅲ 理事会、評議員会**

## **1 理事会**

### **(1) 第1回理事会**

開催年月日 平成30年5月14日（月）

開催場所 防府市公会堂 第5号室

決議事項 ①平成29年度事業報告及び決算について

②平成30年度補正予算（第1号）について（科学事業寄附金の振替関連）

③平成30年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について

### **(2) 第2回理事会**

決議があったとみなされた日 平成30年5月30日（水）

開催方法 決議の省略の方法（定款第37条第1項に基づく書面決議）  
決議事項 ④常務理事の選定について（常務理事 賀谷）

### （3）第3回理事会

決議があったとみなされた日 平成30年7月10日（火）  
開催方法 決議の省略の方法（定款第37条第1項に基づく書面決議）  
決議事項 ⑤平成30年度第2回評議員会の招集について

### （4）第4回理事会

開催年月日 平成30年7月24日（火）  
開催方法 防府市文化福社会館2階 第13号室  
決議事項 ⑥代表理事、会長の選定について（代表理事、会長 池田）

### （5）第5回理事会

開催年月日 平成31年2月18日（木）  
開催場所 防府市文化福社会館3階 第4号室  
決議事項 ⑦平成30年度補正予算（第2号）について（文化事業等寄附金の受入関連）  
⑧平成31年度事業計画書及び収支予算書等について  
⑨防府市地域交流センター館長の選任について（館長 河村）  
⑩平成30年度第3回評議員会の招集について

### （6）第6回理事会

決議があったとみなされた日 平成31年3月5日（日）  
開催方法 決議の省略の方法（定款第37条第1項に基づく書面決議）  
決議事項 ⑪規程の改正について（人事院勧告に伴う給与改定）  
⑫防府市立防府図書館館長の選任について（館長 大野）

### （7）第7回理事会

決議があったとみなされた日 平成31年3月29日（金）  
開催方法 決議の省略の方法（定款第37条第1項に基づく書面決議）  
決議事項 ⑬規程の改正について（防府市山頭火ふるさと館設置及び管理条例中改正に伴うもの）

## 2 評議員会

### （1）第1回評議員会（定時評議員会）

開催年月日 平成30年5月30日（水）  
開催場所 防府市公会堂 第5号室  
決議事項 ①平成29年度事業報告及び決算について  
②平成30年度補正予算（第1号）について（科学事業寄附金の振

替関連)

③理事及び監事の選任について（理事 原田⇒賀谷、監事 山内⇒吉富）

**(2) 第2回評議員会**

決議があったとみなされた日 平成30年7月24日（火）

開催方法 決議の省略の方法（定款第22条第1項に基づく書面決議）

決議事項 ④理事の選任について（理事 池田）

**(3) 第3回評議員会**

開催年月日 平成31年3月13日（水）

開催場所 防府市文化福祉会館3階 第4号室

決議事項 ⑤平成30年度補正予算（第2号）について（文化事業等寄附金の受入関連）

⑥平成31年度事業計画書及び収支予算書等について

## **事業報告の附属明細書**

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年5月

公益財団法人 防府市文化振興財団